

# こしば新聞

令和5年6月21日(水)58号

## 補正予算を経て

先月の26日に区議会では臨時会が開かれ、議長・副議長が選挙によって選ばれました。そして常任委員会・特別委員会も開かれ、同じく委員長・副委員長が選挙で選ばれました。私はこのたび、厚生委員会の副委員長に推挙されました。これまで総務委員会、区民委員会を交互に担当してきましたので厚生は初めてとなります。臨時会では議長などの選挙だけではなく、補正予算案も審議されました。補正額は20億8474万6千円。これまでの議会で要望していましたが、地域コミュニティの核となる町会・自治会の支援を拡充してもらおうよう提案していました

ところ、このたび町会活動を資金面で支えていく取り組みが拡充されました。

## 町会・自治会支援

可決成立した補正予算の一つは「児童参加地域事業・新規事業定着化補助金」。左図の通り、これまでの補助金が大幅にアップされました。

	これまで	今回
上限	10万円	12万円
補助率	4分の3	5分の4
申請回数	2回	3回

## 商店・企業の支援

エネルギー価格の高騰が長期化し、安定的な事業活動に影響が出ていることから品川区では区内中小企業などの事業継続の下支え、区内経済の活性化を図ることをしました。

コロナ禍が過ぎてまだまだ人の流れが戻らないところもあります。この補助金が少しでも商店や企業の生産活動の後押しに繋がることを願っています。

助成金額	上限80万円 (対象経費の5分の4)
対象者	中小企業 個人事業主(全)
飲食店 設備例	冷蔵・冷凍庫 製氷機 食器洗浄機 等
製造業 設備例	冷暖房機器 ボイラー設備等
運輸業 設備例	大型特殊車両
時期	7月中旬から来年1月末まで
申請方法	オンラインが原則

## 物価高騰対策

昨年度実施された物価高騰に対応した低所得世帯に対する給付に加えて、このたび特別区民税均等割のみ課税されている世帯も対象にした支援金が決定しました。支給額は1世帯に対して3万円。およそ4万4000世帯、家計急変世帯の500世帯に支給されます。広報しながわでは7月1日号に、区のHP、SNS、ポスター、チラシなどでお知らせする予定です。非課税世帯の方々だけではなく課税世帯も物価高騰により日々の生活に影響を受けている現状です。今回は非課税世帯に近い方も対象に入りましたが、拡充も含めて検討す



【お問い合わせ先】  
 自由民主党  
 東京都品川区第三十四支部  
 〒140-0014  
 品川区大井 5-6-2-101  
 ☎ 090-6106-2272  
 Fax 03-6303-7037  
 ※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。



ご相談や区政へのご意見をお聞かせ下さい。  
☎ぜひラインも

べき課題です。

## ヘルメット補助

品川区では昨年自転車が開ける交通事故が440件発生し、全体の47.1%を占めました。4月1日からすべての自転車利用者に対し、ヘルメット着用が努力義務が課されたもののまだヘルメット着用は進んでいない状況です。そこでこのたびの補正予算ではヘルメットの購入助成を行うこととなりました。

### 【対象者】

自転車ヘルメットを購入した区内在住の方

### 【条件】

- ① 自転車損害賠償保険に加入していること
  - ② 安全基準を満たしたヘルメットであること
  - ③ 1個あたり2000円以上の商品であること
  - ④ 令和5年4月1日以降に購入したこと
- 【助成金額】  
区内共通商品券2000円分

## ドッグランを視察

コロナ禍を通して、多くの方がペット特に犬を飼われました。犬を最近よく見かけます。

品川区ではすでに大井頭公園にドッグランが設置されていますが、街の方からは品川区の中心部にドッグランを設置してもらいたいなどの声をたくさん聴いています。そこでこのたび、都内にあるドッグランを視察してきました。

今回視察した公園は①調布にある神代植物公園②世田谷区にある蘆花恒春園③文京区にある目白台運動公園でした。特に最初に訪れた神代植物園にあるドッグランは面積が広く大型・中型犬のゾーン、小型犬のゾーン、そしてもう一つは条件付きのゾーンがありました。こちらは犬見知りの犬やペットを飼い始めて間もない方などドッグランでペットを走らせることに不安のある方向けのゾーンです。わたしが視察した時間帯はお昼前でした。大型犬は2

匹ほどで、あとは小型犬が10匹ほど駆け回っていました。入口にはダイヤル式のカギが施錠されていて、登録が済んだ利用者は解錠して入れる仕組みとなっていました。最後に見学した文京区の目白台運動公園は、区営の施設でありまして、規模は小さいものの周辺に住む住民への配慮が徹底されている作りとなっていました。運動公園とは柵と植樹で隔たれていて、入口には鍵がかかっておりそこから長い通路を経て、ゾーンが手前と奥に2カ所ある設定でした。こちらには20匹程の犬がいましたが駆け回るのではなく少し歩き回る印象を受けました。ドッグランで多くの気付きを得ることができました。6月の一般質問(29日)にもドッグランの展開について質問をする予定です。



(目白台運動公園にて)

品川区では勝島の区民公園や区役所前の中央公園など面積が23区でも有数の広さを誇る区営の公園があり、地域の住む区民の方々の配慮にも取り組みつつ、ドッグランの区内展開を提案していきます。

## 超短時間雇用促進

6月8日に五反田にある障害者の就労移行支援を行っているジヨブサ品川区を訪問してきました。こちらでは松田社長からお話を聞きました。昨年に障害者総合支援法が改正されたことに伴い障害者の方々の労働時間の下限が20時間以下であっても国が定める法定雇用率(44人以上の従業員のいる事業所では1人以上の障害者を雇用することを定めたもの)に算入されることになりました。

これまで精神障害の方の中には長時間の労働が困難な方もいて、週20時間働けないと企業も雇わない事例が多くありました。しかし今回の法改正によって、障害者の方々も自立できる社会に向けて一歩を踏み出せることになりました。

した。しかし、まだまだ課題があります。本人と事業主とのマッチングです。私たちも就職や転職活動をするときにはハローワークや就職・転職サイトに登録して、希望の職種や場所、給与を条件にしてコーディネーターがマッチングをしてくれますが、障害者の方の場合は、このコーディネーターの存在が今後の就労定着にも大きくかかわってきます。私は障害者支援に携わる全ての事業者のノウハウ、経験を活かした取り組みを区に提案していきます。

